

2024年2月・3月受入れ

# 新着図書のご案内

姫路市立城郭研究室

## 「唐津城本丸4」

唐津市教育委員会

## 「唐津のなかの唐津焼展」

唐津市教育委員会

## 「兵庫県立歴史博物館友の会 創立40周年記念誌」

兵庫県立歴史博物館友の会

## 「決定版日本の名城1 江戸城」

ディアゴスティーニ社

## 「決定版日本の名城2 姫路城」

ディアゴスティーニ社

## 「紀元前一世紀の社会変革」

大阪府立弥生文化博物館

## 「日本外史 徳川氏正記」

頼山陽(著)、木村岳雄(解説)  
八木書店

## 「日本近世史を見通す3」

荒木 裕行・小野 将 編  
吉川弘文館

## 「日本近世史を見通す6」

上野 大輔 編、小林 准士 編  
吉川弘文館

## 「新修 鳥取市史第5巻」

鳥取市史編さん委員会

## 「三井大坂両替店の顧客信用情報」

萬代悠  
勉誠社

## 「キリシタン世紀の日本」

C・R・ボクサー  
八木書店

## ものと人間の文化史189「百人一首」

江橋崇  
法政大学出版社

## ものと人間の文化史190「寒天」

中村弘行  
法政大学出版社

# 今月のおすすめ本紹介！！

## 「図説日本の城郭シリーズ⑩ 足利将軍の合戦と城郭」

木下昌規・中西裕樹/著 戎光祥出版

「日本の時代区分で一番人気がない時代は？」といわれると、上位にランクインしそうな室町時代。しかし近年「観応の擾乱」、「応仁の乱」、「三好一族」など、室町時代をテーマにした新書がヒットしたことで、そのイメージが変わりつつあります。本書はそんな室町時代を築いた足利将軍とその城にスポットをあてた、ありそうでなかった1冊となっております。金閣寺・銀閣寺をはじめ文化的なイメージが強い足利将軍ですが、彼らの武将としての姿に思いを馳せつつ、一読してみると面白いかと思えます。

## 「図説 日本の城と城下町⑨ 熊本城」

大坂城からはじまった初心者にもわかりやすく、みどころを簡潔にまとめてくれているこのシリーズ。全10巻発売予定で、現在9巻刊行されています。9巻で取り上げられたのは熊本城。2016年の熊本地震で大きな被害を受け、現在復旧が進められています。まだまだ観覧できる場所は限られていますが、お城のまわりから石垣や建物は見えますし、復旧作業も垣間見ることができます。

なお、個人的なおすすめは熊本城博物館。被災前に天守内に展示されていた御座船「波奈之丸」が救出され、現在同博物館内で展示されています。一見の価値あります。

- ※ 上記の図書は、日本城郭研究センター2階 城郭資料特別閲覧室にて閲覧していただけます。
- ※ 貸し出しはしていません。
- ※ 開室時間は、月曜日から金曜日 9:00~12:00 13:00~17:00
- ※ 土、日曜日・休日・年末年始は閉室しています。
- ※ 上記の図書以外にも姫路城や姫路の歴史に関する蔵書など貴重な書物がたくさん収蔵していますので、興味のある方は、是非お越しください。
- ※ 城郭研究室への問い合わせ先及びホームページは、下記のとおり。



姫路市立城郭研究室（日本城郭研究センター2階）

TEL 079 (289) 4877

URL <https://www.city.himeji.lg.jp/jyokakuken>